

# 国土交通省 揖斐川第二出張所



## 新年の始まりにあたって （揖斐川・杭瀬川堤防補強工事等関係者連絡会議）



揖斐川第二出張所長  
細野 貴司

新年あけましておめでとうございます。

昨年は7月の長野県南木曾町、8月の広島県広島市において大規模な土石流が発生。また、9月には御嶽山噴火など、とりわけ土砂災害による被害が顕著な年でした。

一方、昨年の大垣における7月から8月の2ヵ月間の総降水量は平年の約2.6倍。中でも、8月9日から10日にかけて、岐阜県山間部を中心に非常に激しい降雨をもたらした台風11号では、揖斐川（万石地点）で戦後12番目の高水位を記録しました。この時、上流の徳山ダム・横山ダムが防災操作に当たり、下流域の水位低下に大きな効果を発揮しました。

気象庁は、台風や前線の停滞による大雨の発生について、長期的には既に地球温暖化の影響は現れており、この先ますます顕著になると警告しています。申し上げるまでもありませんが、国民の生命・財産を守ることは国の最も重要な使命です。国民一人一人が安全・安心に暮らしていくことができるよう、県、沿川市町村等としっかりと連携して、防災・減災・老朽化対策を進めていきたいと思えます。

沿川地域の皆様のご支援・ご協力を心からお願いし、年頭の挨拶とさせていただきます。



工事等関係者連絡会議  
会長 岐建（株）  
伊藤 修一郎

あけましておめでとうございます。

私たち建設業は、社会資本の整備や維持管理などを通じて、地域の安全・安心を確保するという役割を担っています。建設業は人にとって大切な「衣食住」の一つを担う、やりがいのある仕事です。近年、若者の建設業離れが進み、代々受け継がれてきた職人さんの技術・技能の伝承が出来なくなってきました。『将来、建設業に入ろう！』という気にさせるための一層魅力的な建設業、建設会社となるよう微力ながら努めていきたいと思えます。

今年の冬は天候不順で工事が予定通り進まず、各社頭を悩ませていますが、堤防補強工事を通じて地域の皆様の生活基盤を整備し、維持する大事な役割を担っており、目に見える形で社会に貢献できることは私たちの誇りです。工事完成に向け、安全第一と早期完成に努めますので、ご理解とご協力をお願いいたします。